

平成 28 年度第 4 回 幹事会議事録

日時：2017 年 1 月 20 日（金）14:00～16:30

場所：大阪府済生会中津病院南棟 2 階

第 2 会議室

[出席者]

井上智奈美（三菱京）、寺澤 裕子（関労災）
畑 美之（阪警察）、増田 徹（藍野大）
吉原 理恵（済中津）

[報告事項]

■事務局（総務）

1. 平成 28 年度第 43 回総会

第 43 回総会・第 140 回研修会は、2017 年 3 月 17 日（金）に、JR 京都駅前のキャンパスプラザ京都 2F 第一会議室にて行う。総会記念講演は、関西医科大学解剖学第一講座教授 山田久夫先生に依頼（医学部生の実態（仮題））。山田先生は第 34 回医学情報サービス研究大会大阪枚方大会の実行委員長である。

総会の選挙管理委員は、岩崎智子氏（コープ）に依頼予定。

2. 平成 28 年度役員会

2 月 17 日（金）13 時より、滋賀医療技術専門学校にて開催予定。

3. 『系統的文献検索概説』について

『系統的文献検索概説』は 300 部を増刷した。現在事務局（藍野大学）の在庫分は 2 刷になっている。諏訪氏に 10 冊進呈。諏訪氏の新刊については、医学書院に出版を打診した。

4. コンソーシアムについて

医学書院の「MedicalFinder 法人サービス」が、今年は契約数が 10 施設に達し、割引率が 3% から 5% になった。

5. ニュースレター

ニュースレター No. 39 を 11 月 16 日（水）に送付。

■事務局（会計）

1. 会員数・収支（2017 年 1 月 10 日時点）

会員数：会員 114、賛助会員 4、購読会員 43、
広告主 4

会費収入 367 万円、会費以外の収入 285,984 円
（収入計：3,776,896 円）

事業費 261,279 円（予算 276 万円）、管理費
2,284,101 円（予算 6,758,380 円うち予備費 180
万円）

（支出計：2,545,380 円）

2. 請求状況

購読会費 35 巻（2016 年 9 月 12 日 病図協
16-20 号）は、34 機関が支払い済み。岩手県立
病院は 1 号のみ支払い済み。後払い 4 件、未払
いが 4 件ある。

3. 会計監査

3 月上旬に実施予定。会計は例年通り 2 月末
で締め切る。

4. 次年度予算案

各部の活動計画に基づいて予算を組む。

・KITOcat 後継システムの構築（構築費、打
ち合わせ費用）

・諏訪氏の本出版

・濱口氏の本出版

病図協事業の概算は下記のとおり。

収入（会費のみ）：320 万円、

支出（試算）：337 万円

支出試算内訳：会誌 90 万、研修 30 万、ホーム
ページ 30 万、目録 40 万（H30～）、リポ
トリ 65 万、交流会 12 万、総会開催 20 万、活動費
50 万（対外含む）

※下線部分は必須費用で計 225 万円。

■研修部

1. 第 139 回研修会（見学会）の開催

第 139 回研修会（見学会）を 1 月 27 日（金）
9 時より行う。株式会社トーハン大阪支店、武
庫川女子大学附属図書館、国立国会図書館関西
館および平城宮を見学する。申込締切日は 1 月
19 日（木）で、19 名の申し込みがあった。

2. 第140回研修会（事例・研究報告会）の開催

第140回研修会は、例年通り第43回総会と同日の午前中に行う。当日の発表予定者は、伊藤友香氏（藤沢徳）、岸田智江氏（市長病）、田中浩章氏（神労災）と幹事の寺澤氏（関労災）、増田氏（藍野大）である。

3. 研修部備品について

研修部の椎木氏の退職後、京都桂病院図書室の担当者が再度代わった。現担当者が引き継ぎを受けていないようだったので、残してある研修部備品を椎木氏に照会し、存在を確認した。内訳は、名札ケース、パソコン、プロジェクター各1台と研修部印である。

■会誌編集部

1. 原稿の状況

35巻1号は12月発行。35巻2号は特集が一部到着済み。その他未着分（研修部報告）を督促予定。36巻1号は事例報告分のみ執筆依頼済み。一部はすでに到着。

2. 次回編集会議について

第1回編集部会は、1月21日開催予定。会誌の今後についても検討予定。

■統計調査部

1. 平成27年度図書室統計調査について

平成27年度図書室統計調査は回答の締切日が12月16日（金）であった。現在の回答機関数は85機関、回答率は74.6%である。また実データを公開可としている機関は44機関である。前回、前々回の回答機関数、実データ公開可機関数はそれぞれ、92機関/51機関、89機関/52機関である。3月総会開催までには集計し、報告書をPDFデータで近図雲上にアップする予定である。

■目録サポートチーム

1. 新しい目録システムについて

KITOCatに続く新目録システムについて、これまでのいきさつから東海目録の動向を尊重す

るつもりであったが、電話で東海の担当者と話した結果、今後の見通しにおいて病図協との連携は念頭にないようであった。病図協のホームページの管理業者にたずねると、KITOCatと同じような目録をつくることは可能であり、その費用は幹事から出た他の見積りや他ネットワークの話聞くかぎり、望んでいる機能であれば妥当な金額といえそうである。一方で、KITOCatの他のネットワークは、東海を含め、財政的に現在のKITOCatにくらべて機能の縮小を余儀なくされるようである。

現在の病図協の運営状況を見ていると、今後は人的なものがあてにできず、協議会として安定して会員に資する事業は、ハードの整備によるものの比重が大きくなっていくと思われる。また、できるだけたくさんの利用者に利用されるのが目録本来の目的にかなうことであり、それなら最初からよい目録システムをつくるべきである。病図協が病院図書館ネットワークとしてリーダーシップを発揮して、KITOCatに匹敵する目録システムを立ち上げ、他のネットワークに参加してもらうようにしていければと考えている。

■ホームページWG

1. 過去カテゴリの削除

データファイルを10月14日実施。業者に依頼したカテゴリ削除終了後に公式コミュニティで会員に通知（10月31日）。

2. 近図雲不具合

PCメールへの通知機能がサーバ評価サイトで迷惑メールと判断され、複数の機関へのPCメール通知ができなくなった。これは一斉にメール送信する設定がサーバ評価サイトで迷惑メールと判断されブラックリストに入ることで起きるエラーで、2015年にも起きている。サーバ評価サイトに連絡してトラブルは解消済み。今後も年1回はこのエラーが起きるが、近図雲の機能上やむを得ないこととして今後も対処する。評価サイトが海外にある場合、解消までに

- 1 カ月程度必要。
3. 次年度活動
特に変更なし。

■リポジトリ部

1. 会誌「病院図書室」の KINTORE 掲載について
8月17日ウェブサイト2か所に公告アイコン、
掲示板に書き込み、近図雲で通知を行った。
公告期日の11月20日以降に KINTORE へ掲載する予定。
業者委託か部で一括登録を行うかは34巻1号
の一括登録を部で試してから考える。
2. リポジトリ研修会
9月26日公式コミュニティへ書き込み希望者
を募っている。
3. リポジトリ参加機関数
2016年5月現在14機関（変更なし）。
4. メンテナンス作業

ディスカバリーサービスとの連携（ユサコ）
と、管理者画面から入手する利用件数の設定を
変更する必要がある、11月2日に30分程度編
集作業ができない期間を設けた。参加機関へは
「クールダウン」を通じて連絡済み。

5. 八尾市立病院年報
八尾市立病院年報が1冊丸ごと載っており、1
件とカウントされることへの対応を検討した。
6. 電子化助成
済生会中津病院から透明テキストデータ化の
助成申請あり。助成を行う。2017年1月末に納
品後登録する。

[協議・決定事項]

■会誌編集部

1. 新入部員
大津赤十字病院の深井氏の入部が、幹事会に
て承認された。